

お客さまから、もっともっと よろこばれる銀行へ

株式会社きらやか銀行
代表取締役頭取 栗野 学

きらやか銀行が目指すものは何ですか？

「きらやからしさ」

今年度から、新たな中期経営計画がスタートします。その基本となる考えとして、これからの3年間で、『**きらやからしさ**』を追求していきたいと考えています。「きらやからしさ」とは何だろうと考えた時、真っ先に頭に浮かぶのは、今全行をあげて取り組んでいる『**本業支援・最適提案**』です。これらの延長線上にあるのが、正に「きらやからしさ」なのだと思っています。言葉で表すと、『**もっともっと喜ばれる銀行になる**』。これが「きらやからしさ」です。

「もっともっと、よろこばれる銀行へ」

もっともっと喜ばれる銀行になる。この「きらやからしさ」を実現するために、中期経営計画において大きな方針を決めていきたいと思っています。中期経営計画のストーリーのスタート地点は、『**本業支援・最適提**

案』です。取引拡大により、収益力が向上すると**経営基盤が強化されます**。そうすると**株主の皆さまが喜ぶ、地域社会が喜ぶ、行員が喜ぶ**。皆さまとそして行員が喜んだ力で、更にサービス向上の充実を図り、より進化した「**本業支援・最適提案**」の地点へと戻っていく…。このようなストーリーを描いていきたいと思っています。

もう一つは本業支援による「**コミュニケーションの活性化**」です。そして内部管理態勢強化にもつながる、『**ルールを守る**』ということ。これらが**更なる収益力の強化につながります**。そして更には、本年10月に控えている「**仙台銀行との経営統合**」。この統合により、**新たな市場開拓につながります**。**新たな市場の開拓は、お客さまの喜び、そして地域経済の活性化に結び付きます**。

経営統合後の戦略をお聞かせください。

「つなぐ」

10月に経営統合する仙台銀行との戦略は、『**つなぐ**』がキーワードだと思っています。法人のお客さまには**本業支援をベースに情報をつなぐ、商流をつなぐ**。個人のお客さまには**両県に跨るものをつないで商品**

を創る、ネットワークをつなぐ、チャンネルをつなぐ。仙台銀行との**経営統合後は、他行とは違うサービスを「つなぐ」というキーワードのもと、実施していきたい**と思っています。